

関平だより

平成 22 年 6 月号



発行 霧島市営 関平鉱泉水販売所

0120-235-524

定休日は第1及び第3火曜日

6月の定休日は1日(火)と15日(火)です。

霧島の歳時記

過ごしやすい季節は瞬く間に過ぎ去り、あっという間に6月。この時期になると多くの田んぼに水が引かれ、田植の作業風景がみられるようになります。その頃、五穀豊穡を願う神事「お田植祭」が各地域で奉納されますが、霧島市では霧島神宮と鹿児島神宮で、お田植祭が奉納されます。



▲ 「狭名田の長田御田植祭」の様子。

狭名田の長田御田植祭 見どころ

ニギノミコトが初めて水稻を作ったと言い伝えられ、日本最古といわれる神田「狭名田の長田」で早男・早乙女らによって早苗が植えられます。

日時：6月6日(日)
場所：霧島市田口
雨天決行・無料
お問い合わせ：霧島神宮
TEL：0995-57-0001

霧島神宮斎田御田植祭

見どころ

農耕劇「田の神舞」の奉納。言う事を聞かない神牛にやっとなのおもいで犁(すき)をつけて水田を耕し、田植えが行われ、その後で田の神が登場し、奇面奇衣を身にまとい、昔ながらの方言でおもしろおかしく約30分間舞われます。

日時：6月10日(木)
場所：霧島神宮 雨天決行・無料
お問い合わせ：霧島神宮
TEL：0995-57-0001



▲ 「田の神舞」ユーモラスな農耕劇は思わず笑ってしまうほど愉快です。



鹿児島神宮御田植祭

見どころ

午前に本殿で本宮祭があり、午後から神宮横の神田で斎田祭が行われます。地元をはじめ、周辺近隣市町の住民約50名が、早男、早乙女に扮し、田植えを行います。

日時：6月20日(日)
場所：鹿児島神宮
雨天決行・無料
お問い合わせ：鹿児島神宮
TEL：0995-42-0020

ご 報 告

『塩浸温泉龍馬公園』オープン! GW期間中 関平鉱泉水試飲コーナーを設置・500mlペットボトルを販売!!



▲ 塩浸龍馬公園看板。大きくてシンプルで、とても分かりやすいです。

坂本龍馬と妻お龍(りょう)が“日本初の新婚旅行”で訪れた霧島市牧園の塩浸温泉に、足湯や二つの源泉の湯が楽しめる温泉施設、資料館などを備える「塩浸温泉龍馬公園」が、5月1日オープンしました。

オープンにあやかってGW期間中、関平鉱泉水をPRしようと500mlペットボトルを氷で冷やして販売したところ好評を博し、かなりの数が売れました。販売終了後は、鉱泉水の試飲コーナーを設置して来園者の方々へ飲んで頂きました。



▲ お買い上げ下さった方々、本当にありがとうございました。



▲ 好天に恵まれ暑かったので、氷でキンキンに冷やして販売しました。

塩浸温泉龍馬公園

霧島の新スポット『塩浸温泉龍馬公園』をご紹介します！！

坂本龍馬・お龍新婚湯治碑



龍馬ファンには言わずと知れた日本初、新婚旅行の碑。寺田屋事件で九死に一生を得た龍馬が、西郷隆盛・小松帯刀の薦めで、お龍とともに日本人初めての新婚旅行に訪れました。

龍馬資料館「この世の外」



龍馬と霧島・薩摩がわかる資料館。NHK大河ドラマ「龍馬伝」で使用された着物や撮影時の写真を来年3月まで展示しています。

資料館は大人300円
小学生150円
幼稚園以下無料

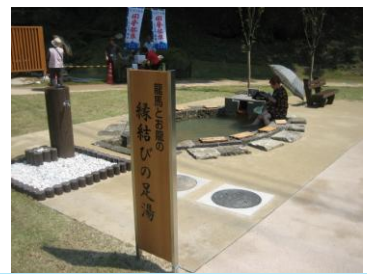
塩浸温泉



龍馬は、小松帯刀や西郷隆盛らの紹介でここを訪れ、寺田屋事件での刀傷を癒しました。岩に白い塩のようなものが付くことから「塩浸温泉」と呼ばれるようになりました。龍馬も入浴したと伝えられる2源泉を利用しています。

大人：360円
小人：140円

龍馬とお龍の縁結びの足湯 無料



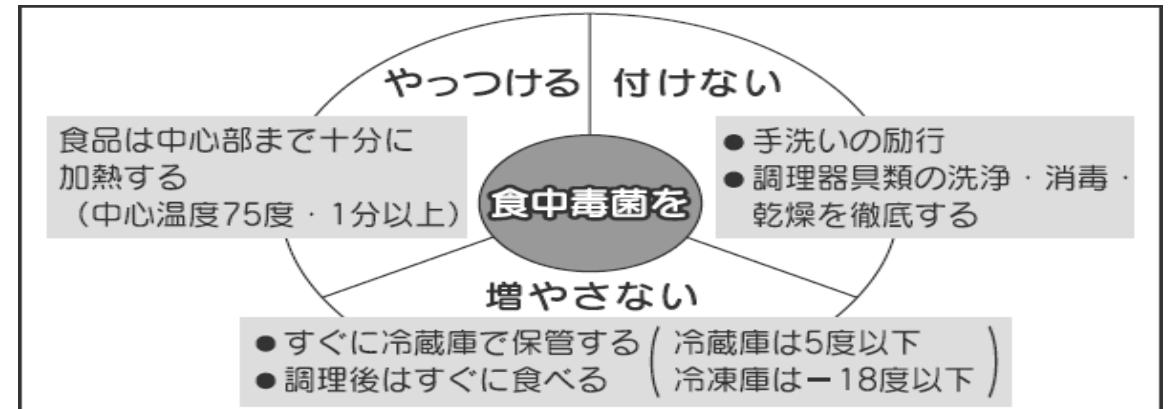
塩浸温泉龍馬公園全景

梅雨時の健康管理

予防三原則を守って『食中毒』を予防しましょう！！

いよいよ梅雨の時期が到来しました。湿度も高く体調をくずしやすい季節でもあります。風邪を引きやすくなったり、感染症や食中毒にも注意が必要です。食中毒のほとんどは原因菌やウイルスのついた食品や飲料水を飲食することによって起こります。主な症状は、吐き気や嘔吐、腹痛や下痢などの急性胃腸炎の症状ですが、時には死亡するほどの重症になることがあります。油断は禁物です。

図 食中毒予防の3原則



1. 菌をつけない（清潔にあつかう）

食品に菌をつけないために手や調理器具はしっかりと洗い、食品は包んで保存しましょう。

2. 菌を増やさない（調理後早く食べる、冷却する）

買って来た食品が冷蔵や冷凍の必要なものなら、すぐに冷蔵庫に入れましょう。でも冷蔵庫を過信せず、温度管理に気をつけて、食品は早めに食べましょう。

3. 菌を消滅させる（加熱する）

ほとんどの菌やウイルスは熱に弱いので食品内部まで十分に加熱して菌を殺しましょう。食品の中心温度が75°C以上で1分以上加熱することが基本です。

（※HPを参考に著者作成）

このうっとうしい時期をうまく乗り切って、楽しい夏をむかえましょう。

編集者のひとりごと

宮崎県の口蹄（こうてい）疫問題。毎日ニュースで見ると殺処分の頭数が増えています。これまで大事に育ててきた仔牛や子豚を自分の手で潰して、地面に埋めている酪農家の人たちの悲痛な声を聞くと、事態の深刻さは大変なものです。口蹄疫自体は牛にとっては致命的な病気ではありませんがその感染力のものすごさから、どこの国でも口蹄疫になった家畜（偶蹄類）およびその近辺で飼育されていたすべての家畜（偶蹄類）を殺処分しているそうです。お客様が不安になられる恐れがあるので、ヒトへの感染については、口蹄疫ウイルスはヒトには感染しないと国が言っています。しかし、今回の問題で、私達のこれから先の食卓にも影響が出るのでは・・・一刻も早く沈静化するよう願わずにはられません。